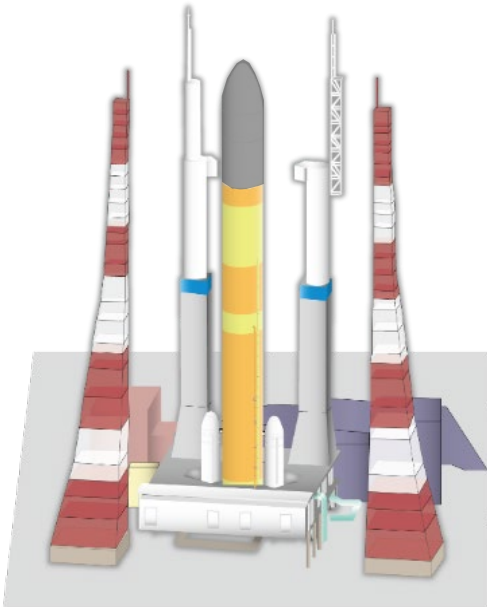


H3ロケット試験機1号機の極低温点検（F-0）とは

目的：機体と設備を組み合わせて、打上げまでの作業性や手順を確認する

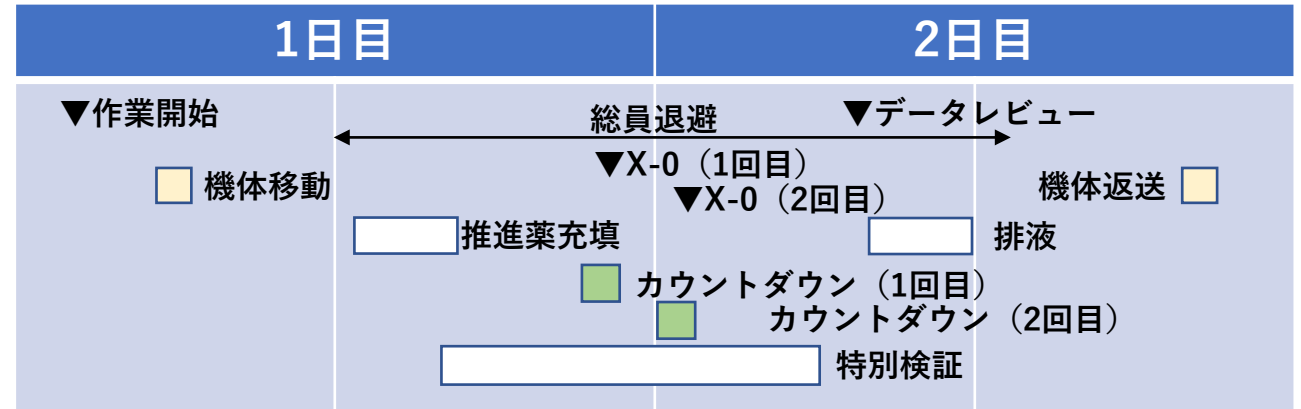
- **機体移動**：大型ロケット組立棟からロケットを打ち上げる射点にロケットの機体を移動し、機体制御のための電気ケーブルや、液体推進薬を充填するための配管を接続する。
- 推進薬充填：設備からロケットに**液体推進薬を充填し**、機体の機能が健全に動作することを確認する。併せて、**機体と地上アンテナの電波リンク**により、機体の状態をモニタできることを確認する。
- カウントダウン：打上げのリハーサルとして、エンジン着火直前までの**カウントダウンを行う**。

試験コンフィギュレーション：



フェアリング：	試験用
SRB-3：	ブースト用
LE-9：	試験用
火工品：	なし
推進薬：	充填
エンジン着火：	なし

試験スケジュール：



F-0：極低温点検
X-0：カウントダウンの打上げ時刻
SRB-3：固体ロケットブースタ
LE-9：1段エンジン